

平成28年度事業報告書

公益財団法人千葉市防災普及公社

第1 事業の概要

東日本大震災以降、地震に対する備えが見直されているなか、昨年には台風による集中豪雨や新潟県での大規模火災等、様々な災害がこれまで以上の規模で発生している現状を踏まえると、災害に対する備えは多面的かつ総合的に実践していく必要がある。したがって、今日まで公社が培ってきたノウハウを生かし、より効果的に市民生活の安全と公共の福祉に寄与できるよう事業に反映させているところである。

公益目的事業である防火防災の思想の普及啓発、知識技術の育成指導及び教育研修の実施に関する事業では、従来から実施している事業のほか、今年度から市民の防災意識の高揚と地震災害に対する知識や技術の普及を効果的に実施するため、防火防災訓練等における体験指導項目を再構築して事業に取り組むとともに、防火管理体制の更なる充実強化を図るため、市内事業所の従業員を対象とした防災実務研修を行った。

また、応急手当の普及啓発及び知識技能の向上に関する事業では、これまでどおり、救命講習による実効性のある救命技術の普及促進に取り組んだ。

収益事業においては、住宅用防災機器や家庭向け防災物品を販売し、災害時の備えとして各種防災用品の普及促進に努めた。

第2 事業内容

1 防火防災の思想の普及啓発、知識技術の育成指導及び教育研修の実施に関する事業

(1) 防災意識の普及及び広報に関する事業

① 防災意識の普及及び広報活動

公社が所有している訓練用水消火器や天ぷら油火災実験装置等の資機材の活用や、防災普及車による地震体験等も含めた指導項目を整理したうえ実施し、防火防災訓練を通して防災意識の普及に努めた。

また、自主防災会や事業所等へ地震や風水害・火災等の防火防災に関するビデオ・DVDの貸出を行ったほか、防災啓蒙物品を作成、配布し防火防災に対する普及啓発に努めた。

ア 防火防災訓練等体験指導

(ア) 消火器取扱要領（訓練用消火器）

（単位：回、人）

実施回数	体験者数
38	1,799

(イ) 天ぷら油発火実験（天ぷら油火災実験装置）

（単位：回、人）

実施回数	体験者数
3	110

(ウ)地震の仕組み（地震発生実験装置及び液状化実験装置）

（単位：回、人）

実施回数	体験者数
28	2,191

(エ)地震体験（防災普及車）

（単位：回、人）

実施回数	体験者数
279	20,672

(オ)煙体験（煙体験ハウス）

（単位：回、人）

実施回数	体験者数
139	12,847

(カ)119番通報体験（119番通報装置）

（単位：回、人）

実施回数	体験者数
5	383

イ 防災啓発DVD及びビデオの貸出

（単位：件、本）

貸出件数	貸出本数
132	268

ウ 啓蒙物品の作成・配布

（単位：品目、個、枚）

品目数	作成数	配布先
5	26,500	防災訓練・防災イベント時に配布

エ 防災イベントの実施（おやこで学ぶ防災体験）

（単位：組）

開催回数	参加組数	実施内容
2	25	消火器取扱要領・天ぷら油発火実験・応急手当要領・地震体験・煙体験・防災物品の展示及び説明等

(2) 行政機関の行う防災施策に対する協力に関する事業

① 行政機関の行う防災施策に対する協力

行政機関の要請に応じ、イベント会場等において、防火防災に関するコーナーを設けて防災意識を啓発するとともに、地震体験指導等を行った。

また、市民が対応した初期消火活動や救助活動の案件に対し、消防の表彰に合わせて公社より記念品の授与を行った。

その他、異常気象及び地震時等において、関係機関からの要請に応じ対応が図れるよう非常食糧や資機材等を整備した。

ア イベント等への支援協力

(単位：回)

協力回数	支援内容
18	応急手当要領・地震体験・煙体験・防災物品展示

イ 市民への表彰に伴う記念品の授与

(単位：件、人)

種別	件数	人数
個人	13	35
団体	2	—

ウ 備蓄食糧及び資機材の整備

(単位：品目、食、個)

区分	品目数	補充数量
食糧	11	4,377

(3) 防火管理体制等の教育指導講習等の事業

① 防火管理体制の教育指導講習

消防法に基づく自衛消防組織の統括管理者等を対象とした自衛消防業務講習、防火対象物における防火管理上必要な事項について定期点検及び結果報告をするために必要となる防火対象物点検資格者講習を実施した。

ア 自衛消防業務講習

(7) 新規講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
14	481

(i) 再講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
8	274

イ 防火対象物点検資格者講習

(ア) 講習

(単位：回、人)

開催回数	受講者数
1	26

(イ) 再講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
1	40

② 防火管理講習等

消防法で定められた防火対象物において防火管理業務を実施するのに必要な資格を取得するための防火管理講習や防災管理上必要な業務を実施するのに必要な資格を取得するための防災管理講習を実施したほか、千葉市火災予防条例に基づく防火管理者等実務講習及び自衛消防技術講習を実施した。

ア 防火管理講習

(ア) 甲種防火管理新規講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
8	1,547

(イ) 甲種防火管理再講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
2	335

(ウ) 乙種防火管理講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
3	147

イ 防災管理新規講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
2	126

ウ 防火・防災管理講習

(7) 新規講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
1	155

(4) 再講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
2	139

エ 防火管理者等実務講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
6	362

オ 自衛消防技術講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
3	40

カ 防火管理講習等用教材の頒布

(単位：種、冊)

テキスト種類数	頒布冊数
5	4,982

③ 防災実務研修

今年度から新たに、災害時における事業所の被害を最小限に止めることができるよう、実務を通して従業員が的確な消火や通報等を習得するための防災実務研修を実施した。

(単位：回、人)

開催回数	受講者数
4	47

2 応急手当の普及啓発及び知識技能の向上に関する事業

救急隊が現場に到着するまでの空白の時間に真の救命率向上の「鍵」があり、より多くの市民が応急処置の知識と技術を身につけ、誰でも心肺蘇生法をはじめ AED の取扱要領や止血法などの救命処置が適切に図れるよう普及啓発に努めるため、救命講習での指導を行った。団体の要請に応じ指導員が出向したほか、常設の会場において定期的に講習を実施した。

また、小さな子供がいる父親や母親を対象としたパパ・ママ救命教室を実施した。

(1) 救命講習

ア 普通救命講習

(7) 普通救命講習 I 出張

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
207	4,549

(4) 普通救命講習 I 常設

(単位：回、人)

開催回数	修了者数						
	合計	公社	消防局	花見川	稲毛	若葉	緑
159	1,436	468	682	67	84	57	78

(7) 普通救命講習 III

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
13	260

(5) 応急手当 WEB 講習 出張

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
20	400

(4) 応急手当 WEB 講習 常設

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
37	182

イ 上級救命講習

(7) 講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
16	405

(1) 再講習

(単位：回、人)

開催回数	修了者数
24	257

(2) 応急手当の普及

ア 応急手当講習

(単位：回、人)

開催回数	受講者数
2	9

イ パパ・ママ救命教室

(単位：回、人)

開催回数	受講者数
8	95

(3) 救命講習用教材の頒布

(単位：品目、個)

品目数	頒布数
2	1,190

3 防災物品等の普及促進に関する事業

住宅防火推進の一環として住宅用防災機器の普及促進に努めるとともに、災害時に役立つ各種防災用品の販売を行った。

また、廃消火器リサイクルシステムの特定期間として家庭にある古い消火器の回収を行った。

(1) 防災用品の販売等

ア 住宅用防災機器

(ア) 販売

(単位：本)

品目	販売数
住宅用消火器	518

(イ) 回収

(単位：本)

品目	回収数
小型消火器	498

イ 応急手当処置用品の販売

(単位：品目、個)

品目数	販売数
3	671

ウ 防災物品の販売

(単位：品目、件、個)

品目数	販売件数	販売数
17	33	642

エ 防災資機材の販売

(単位：品目、件、個)

品目数	販売件数	販売数
10	17	80